

従来の実施状況に関する情報の開示

1. 従来の実施に要した経費

(単位：千円)

			平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	人件費	常勤職員	-	-	-
		非常勤職員	-	-	-
	物件費		-	-	-
	委託費等	委託費定額部分	55,000	50,000	50,000
成果報酬等		-	-	-	
旅費その他		-	-	-	
計 (a)			55,000	50,000	50,000
参 考 値 (b)	減価償却費		-	-	-
	退職給付費用		-	-	-
	間接部門費		0	0	0
(a) + (b)			55,000	50,000	50,000

< 注記事項 >

- ・対象業務の全部を請負により実施。
- ・平成 23 年度のみ、業務内容として、那須平成の森及び那須高原ビジターセンターの開園関係業務が含まれている。
- ・本業務は請負契約であり成果物の対価として支払いを行うものであるため、精算報告書等の提出を要さないことから、内訳は不明である。

(参考 1) 那須平成の森自然教育プログラム(利用者負担プログラム)の参加料金

プログラム		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
学 び の 森	3.5 時間	大人：2800 円 子供：1400 円	大人：3000 円 子供：1800 円	大人：3000 円 子供：1600 円
	3 時間	大人：2400 円 子供：1200 円	-	-
	2 時間	-	-	大人：1600 円 子供：800 円
ふ れ あ い の 森	2 時間	大人：1600 円 子供：800 円	大人：1600 円 子供：800 円	-
	1 時間	大人：800 円 子供：400 円	大人：800 円 子供：400 円	-
	3 時間スノーシュー	大人：2400 円 子供：1200 円	大人：2400 円 子供：1200 円	(前年度並みを予定)

	2時間スノーシュー	大人：1600円 子供：800円	大人：1600円 子供：800円	(前年度並みを予定)
特別編	5.5～6時間	大人：4400円 子供：2200円	大人：4400円 子供：2200円	大人：4400円 子供：2200円
	2～4時間	時間に応じ、 大人：800円/時 子供：400円/時	-	-
	4時間、4.25時間	-	大人：3500円 子供：1900円	-
	2時間	-	大人：1600円 子供：800円	(昨年度並みを予定)

< 注記事項 >

- ・ 子供：小中学生。未就学児は無料、高校生以上は大人料金
- ・ 平成23年度に実施した学びの森3時間プログラムは、別途交通費600円を徴収している。
- ・ スノーシュープログラムについては、別途スノーシューを500円でレンタルしている。
- ・ 利用者負担プログラムの実施に必要な費用（人件費を含む）については、利用者から徴収する利用料金をあてる。収入が必要な費用を上回った場合は、必要に応じて那須平成の森の運営の充実にあてる。

(参考2 区分経理の結果)

		平成23年度	平成24年度
利用者負担プログラム			
	収入(税込)	11,169,508円	8,414,690円
	支出(税込)	8,383,874円	8,254,786円
	収支(税込)	2,785,634円	159,904円
物品販売			
	収入(税込)	1,404,304円	1,916,147円
	支出(税込)	1,064,456円	1,148,583円
	収支(税込)	339,848円	767,564円

(参考3 業務の実施に当たって必要となった消耗品の例)

	平成23年度	平成24年度
トイレトペーパー	約1240ロール購入	約960ロール購入
電球類	交換実績なし	交換実績なし

< 注記事項 >

業務に当たって必要となる消耗品は、全て民間事業者の負担であり、上表は、一般事務、施設清掃、自然教育プログラム等に係る物品以外の、代表的な消耗品についてのみ例示として記載したものである。

2. 従来の実施に要した人員

	平成 23 年度	平成 24 年度
常勤職員	11名	9名
非常勤職員	5名 (うち2名: 6~10月)	8名 (うち1名: 6~10月)
ボランティア 実人数	5名	8名
活動日数	31人日	97人日

	平成 23 年度	平成 24 年度
那須平成の森フィールドセンター 勤務人数(日平均)	8.1名	6.4名
那須高原ビジターセンター 勤務人数(日平均)	1.8名	2.1名

< 注記事項 >

- ・当該業務は請負で実施しており、人員は請負者の職員配置状況であり、参考として記載したものである。
- ・ボランティアは、現在の管理運営団体が独自に募集あるいは組織化等を行った人材ではなく、栃木県の自然講座の受講経験者などを個別に受け入れているものである。また、現在の管理運営団体は、主にボランティア自身のインタープリターとしての研鑽等に寄与することを目的としてボランティアを受け入れており、管理運営団体による管理運営体制はボランティアに依存していない。
- ・勤務人数(日平均)については、ボランティアの人数を含まない数である。また、時短勤務/終日勤務は区別せず1とカウントしている。

(1) 業務従事者に求められる知識・経験等

- 1) 甲種防火管理者
- 2) 那須平成の森の自然や歴史、生物多様性の保全などについてわかりやすく伝える能力
- 3) 日光国立公園那須甲子地域について自然解説を行える知識
- 4) 普通救命講習または同等の講習を受けていること。

(2) 業務の繁閑の状況とその対応

那須平成の森、那須高原ビジターセンターとも、5月~6月(ツツジ開花時期)、夏休み時期(7月~8月)、10月~11月(紅葉時期)が繁忙期にあたる(最大で1200人/日程度(那須平成の森))。

この時期には、館内の清掃等をよりこまめに行う必要が生じる。また、5~6月、10月~11月については、地方事務所負担により仮設トイレ(3基程度)を那須平成の森フィールドセンターの外に設置しており、仮設トイレ設置期間中は、仮設トイレの清掃及び手洗い水の補給等についても、民間事業

者が行う必要がある。

また、5～6月、10月～11月については、地方事務所負担で那須平成の森フィールドセンターの駐車場整理を警備会社に発注しており（人員は1～3名/日程度）、民間事業者が駐車場の交通整理を行う必要があるのはそれらを除く時期である。

1) 那須平成の森来園者

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
4 月	-	4,020	3,620
5 月	(5/22 開園) 5,340	15,634	14,618
6 月	20,921	14,062	11,068
7 月	16,937	9,522	8,419
8 月	20,818	13,994	
9 月	15,910	10,495	
10 月	26,777	18,045	
11 月	14,491	8,966	
12 月	1,355	1,160	
1 月	973	839	
2 月	1,121	993	
3 月	1,375	1,696	
合計	126,018	99,426	

< 注記事項 >

平成 25 年度は 7 月 31 日までの実績を記載している。

2) 自然教育プログラム参加者

	平成 23 年度	平成 24 年度
無料プログラム	114 回 739 名	251 回 1,381 名
個人利用者向け利用者負担プログラム	399 回 3,578 名	355 回 2,333 名
団体利用者向け利用者負担プログラム	69 団体 1,703 名	96 団体 2,922 名
【内訳】		
ガイドウォーク	48 団体 954 名	67 団体 1,052 名
自然体験プログラム	20 団体 729 名	22 団体 1,387 名
室内レクチャー	1 団体 20 名	7 団体 483 名

< 注記事項 >

- ・無料プログラムは、平成 23 年度も 24 年度も同数の催行体制をとっており、参加者数の増加の理由は不明確である。

- ・個人利用者向け利用者負担プログラムの開催実績には、季節に応じて開催する特別編、モニタリングプログラム、森林管理プログラムの開催実績は含まれていない。
- ・平成 24 年度は、月間の団体受入数を原則として 12 団体を上限としている。
- ・平成 23 年度は、車両による送迎を必要とするプログラムを 181 回開催（399 回の内数）、平成 24 年度は、車両による送迎を必要とするプログラムは開催していない。

3) 那須高原ビジターセンター来館者

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
4 月	-	1,797	1,692
5 月	-	4,359	3,408
6 月	-	3,394	2,812
7 月	-	3,035	1,286
8 月	-	4,319	
9 月	-	4,698	
10 月	-	5,339	
11 月	(11 月 13 日開館) 3,785	5,244	
12 月	1,921	1,127	
1 月	1,393	695	
2 月	1,337	714	
3 月	1,686	1,250	
合計	10,122	35,971	

<注記事項>

平成 25 年度は 7 月 31 日までの実績を記載している。

(3) その他

1) 自然体験・自然環境学習に関する人材育成業務

平成 23 年度...実施せず（当該業務は仕様書に含まれていなかったため）

平成 24 年度...人材育成のための企画プログラムの開発とプログラムの試行を実施。

プログラム試行：

実施形態：集合研修（2泊3日）1回

参加人数：スタッフ数2名、参加者16名

参加費：試行のため無料

平成 25 年度...人材育成講座を平成 25 年 11 月から平成 26 年 3 月にかけて実施予定

実施形態：集合研修（2泊3日）1回、通信教育（メール等）4か月間

募集人数：20名

参加費：35000円（宿泊費・食費含む）

2) 要人対応の頻度

	平成 23 年度	平成 24 年度
対応回数	2 回	1 回
【概要】	天皇皇后両陛下 1 回 環境副大臣 1 回	天皇皇后両陛下 1 回

3) 施設の使用許可対応の頻度

	平成 23 年度	平成 24 年度
対応回数	6 回	51 回

< 注記事項 >

平成 24 年度に回数が増加した理由は不明確だが、施設の使用ができるということが、地域団体に浸透してきたためと考えられる。

4) 環境省等により組織される協議会等への参画の頻度

	平成 23 年度	平成 24 年度
那須平成の森連絡協議会	1 回	1 回
那須平成の森運営会	2 回	3 回
那須平成の森基金委員会	2 回	3 回
助成実績 (助成件数)	0 件	2 件

3. 従来の実施に要した施設及び設備

民間競争入札実施要項 表 1 - 1 「対象施設」及び別紙 1 参照

< 注記事項 >

上記の施設、設備については、業務を行う範囲において無償貸与する。

4. 従来の実施における目的の達成の程度

(1) 那須平成の森等来館者への対応

那須平成の森フィールドセンター及び那須高原ビジターセンターの来館者へのアンケートはこれまで行っていないが、平成 23 年度、24 年度において、清掃状況に関する苦情等はない。また、発信情報に関しては、施設へのアクセス情報 (新しい施設なのでカーナビ等で検索できないため、位置がわからない方が多かった) に関する苦情や要望が多く寄せられ、ホームページ、電話対応等で適宜対応している。

(2) 自然教育プログラム参加者アンケート

平成 23 年度、24 年度は、個人利用者向け利用者負担プログラムの参加者に対し、アンケートへの協力

を依頼している。そのうち、プログラム内容に係る設問の回答集計結果は下表のとおりである。

アンケート項目	平成 23 年度		平成 24 年度	
時間設定	長い	7%	4(長い)	3%
	丁度よい	86%	3.5	1%
	短い	6%	3	30%
	その他	1%	2.5	28%
			2	31%
			1.5	1%
1(短い)	6%			
満足度	満足	72%	4(良い)	80%
	やや満足	18%	3.5	3%
	普通	8%	3	14%
	やや不満	2%	2.5	2%
	不満	1%	2	1%
			1.5	0%
		1(悪い)	0%	
インタープリターの解説	分かりやすい	92%	4(良い)	88%
	普通	8%	3.5	2%
	難しい	0%	3	10%
			2.5	0%
			2	0%
			1.5	0%
			1(悪い)	0%

5. 従来の実施方法等

(1) 従来の実施方法

入札対象業務は全て民間事業者に委託していた。業務の実施方法等については下表参照。

別紙 1 (平成 26～28 年度仕様書) 業務内容	平成 23 年度 業務内容	平成 24 年度 業務内容	平成 25 年度 業務内容
1. 那須平成の森等維持管理業務	別紙 1 とほぼ同様	別紙 1 とほぼ同様	別紙 1 とほぼ同様
2. 那須平成の森等運営業務			
(1) 自然教育プログラム	別紙 1 とほぼ同様 ただし、開園後 3 か月間	別紙 1 とほぼ同様	別紙 1 とほぼ同様

	は各種プログラム開催数を増やし、重点的に行うこと。		
(2)自然体験・自然環境学習に関する人材育成業務		プログラム開発及び試行	別紙1とほぼ同様
(3)地元等との連携	別紙1とほぼ同様	別紙1とほぼ同様	別紙1とほぼ同様
(4)広報・普及啓発等			
(5)プログラムの質の確保及び次年度プログラム提案			
(6)本業務全体のマネジメント業務			
(7)その他			
3.共通する事項	別紙1とほぼ同様	別紙1とほぼ同様	別紙1とほぼ同様
	那須平成の森等開園関係業務(式典への協力、関係者向けガイドツアーの実施、)		

(2) 事業の目的を達成する観点から重視している事項

1) 那須平成の森フィールドセンター及び那須高原ビジターセンターの展示

これら施設については常設展示により基本的な情報は伝えられる状態とはなっているが、本業務により季節等に応じて随時作成される展示は、公園利用者に那須平成の森や日光国立公園に関する様々な情報を伝えるうえで非常に重要である。

2) 自然教育プログラムの実施

那須平成の森においては、自然教育プログラムを中心に、わが国の国立公園における有数の自然環境教育・自然ふれあい拠点として運営していくことが求められており、自然教育プログラムの実施は、まさにその根幹をなしている。

那須平成の森における自然ふれあい活動の目的を踏まえ、適切に行われることが重要である。

3) 広報・普及啓発

那須平成の森の自然とのふれあいを、多くの国民に提供することは、那須平成の森の設置目的の達成において非常に重要である。また、那須平成の森基金についても、その活性化は、那須平成の森における自然体験・自然学習や調査研究、自然環境の管理、人材育成の活動を推進するものであり、同じく重要である。

これらの重要な要素を達成するためには、那須平成の森等における展示やプログラムを充実させるだけでなく、広報・普及啓発等が効果的に行われる必要がある。

4) 業務の質の維持向上

那須平成の森等の利用者に高い満足をしていただくためには、展示及び自然教育プログラムの企画実施をはじめとする本業務の質について、常に維持・向上を図ることが重要である。

< 注記事項 >

監督部署は下記の通りである。

契約・支払関係 : 関東地方環境事務所総務課

現場での指導監督 : 那須自然保護官事務所

